

リサイクル通信

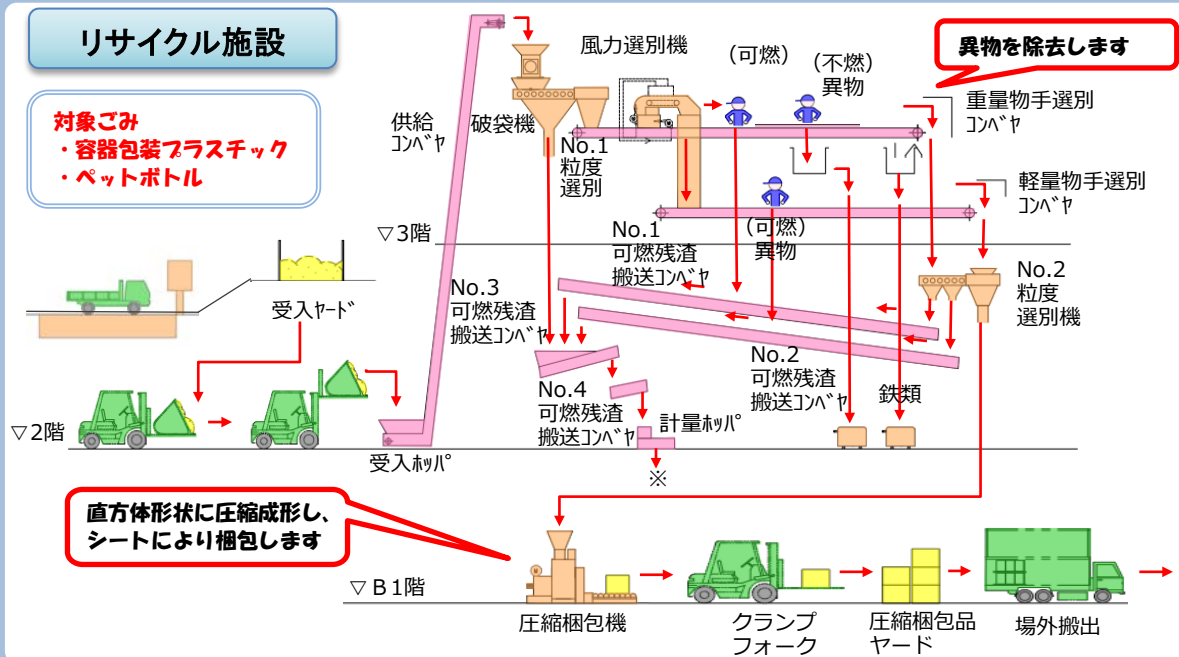
施設内における処理フローのご紹介

(仮称)大磯町リサイクルセンターの中には、『リサイクル施設』、『可燃ごみ中継施設』、『選別保管施設』という3つの施設があります。(VOL. 1を参照してください)
今回は、それぞれの施設内でどのような処理がされるのか、その流れ(処理フロー)についてご紹介いたします。

各施設内の処理フロー

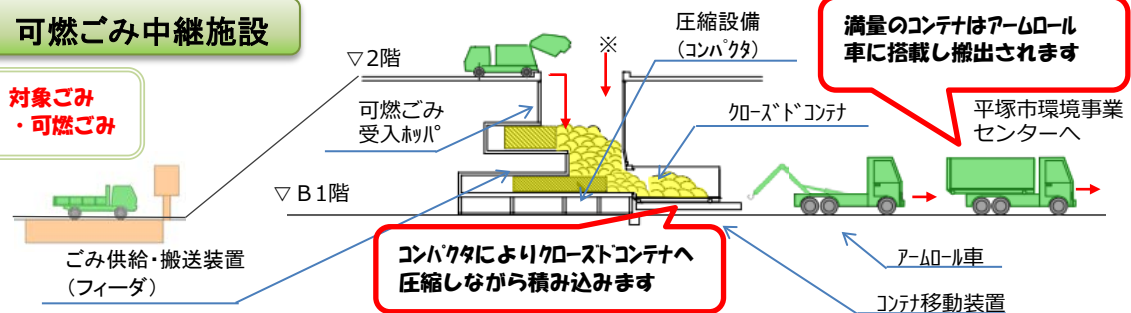
リサイクル施設

対象ごみ
・容器包装プラスチック
・ペットボトル



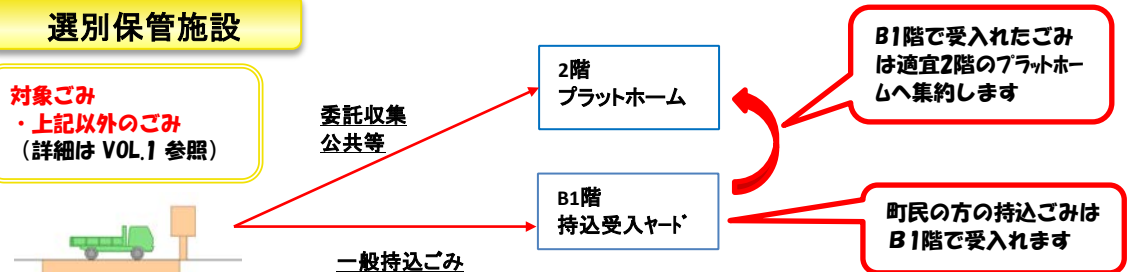
可燃ごみ中継施設

対象ごみ
・可燃ごみ

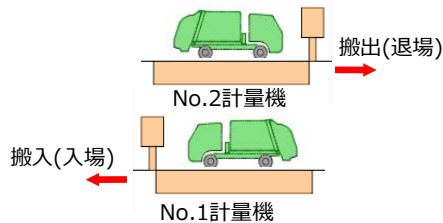
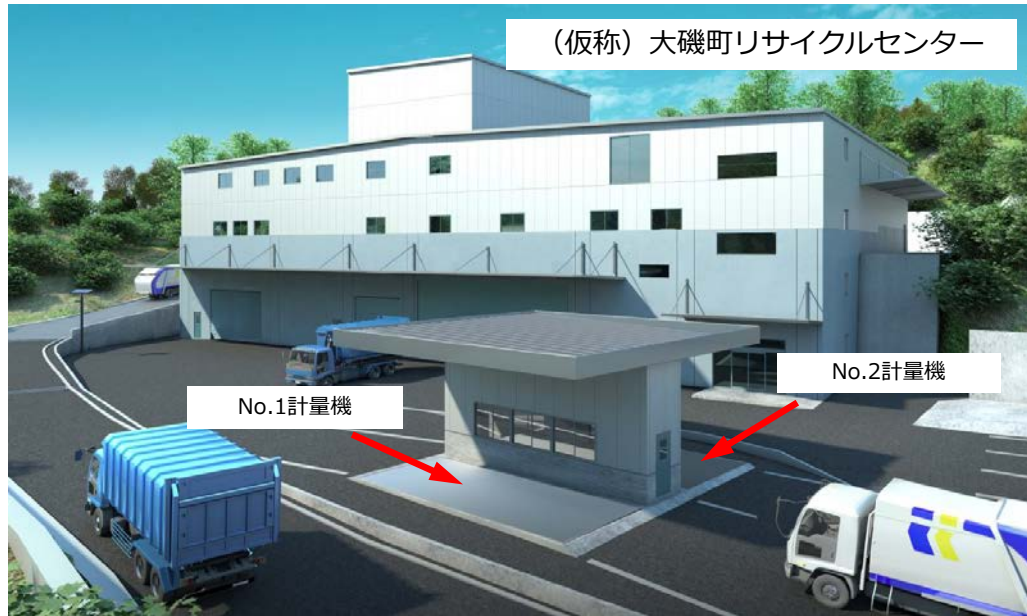


選別保管施設

対象ごみ
・上記以外のごみ
(詳細はVOL.1参照)

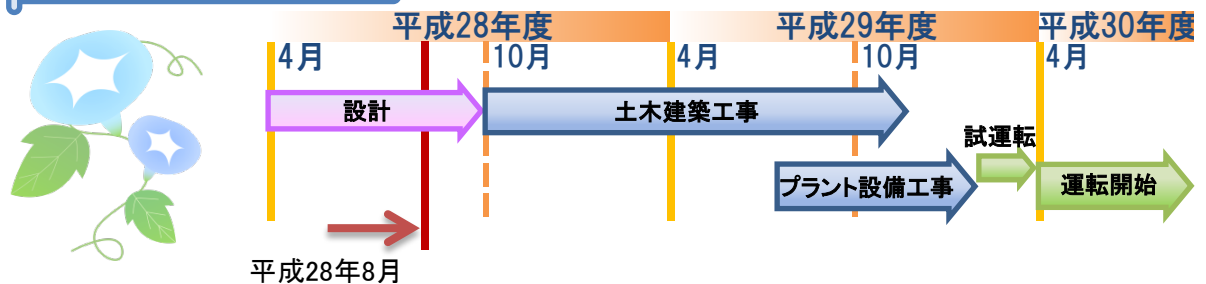


車両の計量



処理物の搬入・搬出は、すべて車両により行われます。リサイクルセンターの出入口には2基の計量機が設置されており、運搬車両について入場時と退場時に計量を行い処理物の重量を管理します。No.1計量機は入場時、No.2計量機は退場時に計量します。

建設工事予定



設計施工監理

設計施工監理とは

施設が所期の品質・性能で予定どおり完成するよう、専門的かつ第三者の立場で確認しています。

最新の法制度や技術動向を踏まえ、本施設が安全・安心なリサイクル拠点となるよう、適正な整備・運営に向けて監理しています。

株式会社 建設技術研究所のキャラクター CTiちゃんです。工事がきちんとできているか確認していますよ



設計施工監理者:株式会社 建設技術研究所

(昭和38年設立、本社:東京都中央区、従業員:1,478名)

河川や道路・橋など社会インフラの調査・計画・設計・施工監理を担う総合建設コンサルタントです。全国で本施設と同様のリサイクルセンターにも数多く携わっています。